

# 景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 27 年 3 月

小 松 商 工 会 議 所

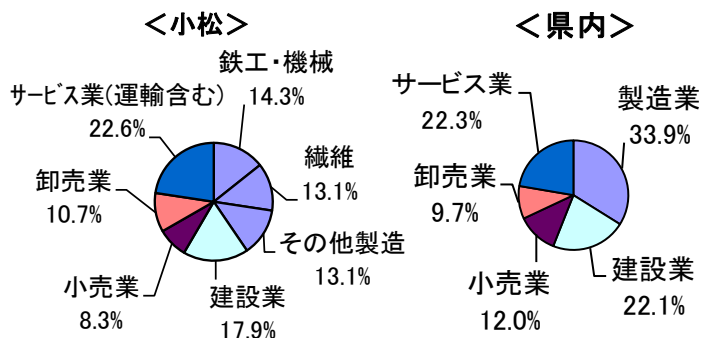
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 84企業（回収率 37.3%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	12	161
繊維	11	
その他製造	11	
建設業	15	105
小売業	7	57
卸売業	9	46
サービス業(運輸含む)	19	106
合計	84	475



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 ……平成 26 年度第3四半期(平成 26 年 10 月～12 月)

今 期 ……平成 26 年度第4四半期(平成 27 年 1 月～3 月、但し 3 月は見込み)

来 期 ……平成 27 年度第1四半期(平成 27 年 4 月～6 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	2	2
不 変	6	4	7	8	7	6	9	5	3	3	5	5	14	13
悪 化	5	7	3	2	2	2	5	9	2	3	3	3	3	4
無回答									1					
総 計	12		11		11		15		7		9		19	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

工作機械の受注状況は良いが、やはり波がある（製造業、好転→好転）
受注案件の増加(オリンピック、人材不足等による自動化案件依頼の増加)（製造業、好転→好転）
金沢、富山、福井、能登で好転（製造業、好転→好転）
好転理由(季節要因含むため)（製造業、不変→好転）
復興需要、首都圏の再開発整備(オリンピック需要)（製造業、不変→不変）
安定した受注が続くと判断している（製造業、不変→不変）
この半年はそんなに変わりなく推移している（製造業、不変→不変）
受注数量の減少が小幅に留まっているため（製造業、不変→不変）
バス需要相変わらず高く、昨年夏頃からこの状況が続く。高止り状態（製造業、不変→不変）
総じて大幅な変動なし（製造業、不変→不変）
来期は年度始めなので定期的な悪化（製造業、不変→悪化）
受注減少と材料費の値上げ（製造業、悪化→悪化）
需要不足、全体に賃金が上らず、物価上昇と増税がダメージを大きくしている（製造業、悪化→悪化）
現状の実績と受注状況から（製造業、悪化→悪化）
売上高の減少（製造業、悪化→悪化）
今後、売上高の減少となる見込み（製造業、悪化→悪化）
わずかな上下である（製造業、悪化→悪化）
売上が右肩上がりの要因が見当たらないため（製造業、悪化→悪化）
売上単価は依然厳しいが、トータルで見ると大きな変動はない（建設業、不変→不変）
前期から公共事業の発注が急速に落ちてきている。26年度補正が災害関連以外なしの状況 (建設業、悪化→不変)
公共事業費減少(2014年補正予算なし)（建設業、不変→悪化）
仕事量の増加結果、忙しくなり、残業、休出が多くなり、利益確保が難しくなる（建設業、不変→悪化）
手持の仕事量の減少（建設業、悪化→悪化）
公共工事の減少（建設業、悪化→悪化）
見積の減少（建設業、悪化→悪化）
工事の遅れが目立つ（建設業、悪化→悪化）
消費者の買い方が悪い（小売業、不変→不変）
昨年増税反動減、新幹線開通の流れを取り込めるか左右する（小売業、好転→悪化）
アベノミクスの恩恵がない（小売業、悪化→悪化）
地酒の売れ行き好調（卸売業、好転→好転）
円安による値上げ等（卸売業、不変→悪化）
全体的には好調な工作機械業界やバス・トラック業界や横ばい推移の建築・土木関係の下支えがあるが、メインの建設機械業界が下方傾向で重い（卸売業、不変→悪化）
金沢の店舗は去年より売上が伸び続けているが、小松の店舗、本社は横ばい又は減少している (卸売業、悪化→悪化)
業種上北陸新幹線開業で景況感が好転している（サービス業、好転→好転）
災害復興、オリンピック、新幹線特需（サービス業、好転→不変）
時期的な要因での好調さの反面、鉄工関連業種の予想通りの低調が前者と相殺となっている (サービス業、不変→不変)
売上高は減ったが利益率を上げることがうまくいったから（サービス業、不変→不変）
北陸新幹線開業により、人の動きが盛んになって売上が増加する（サービス業、悪化→好転）
原材料は輸入に頼っており、その変動見通しが定かでないため不透明（サービス業、不変→悪化）
北陸新幹線金沢開業により、空港旅客の減少が避けられないため（サービス業、不変→悪化）

(1)-2 DI値

(単位: DI)

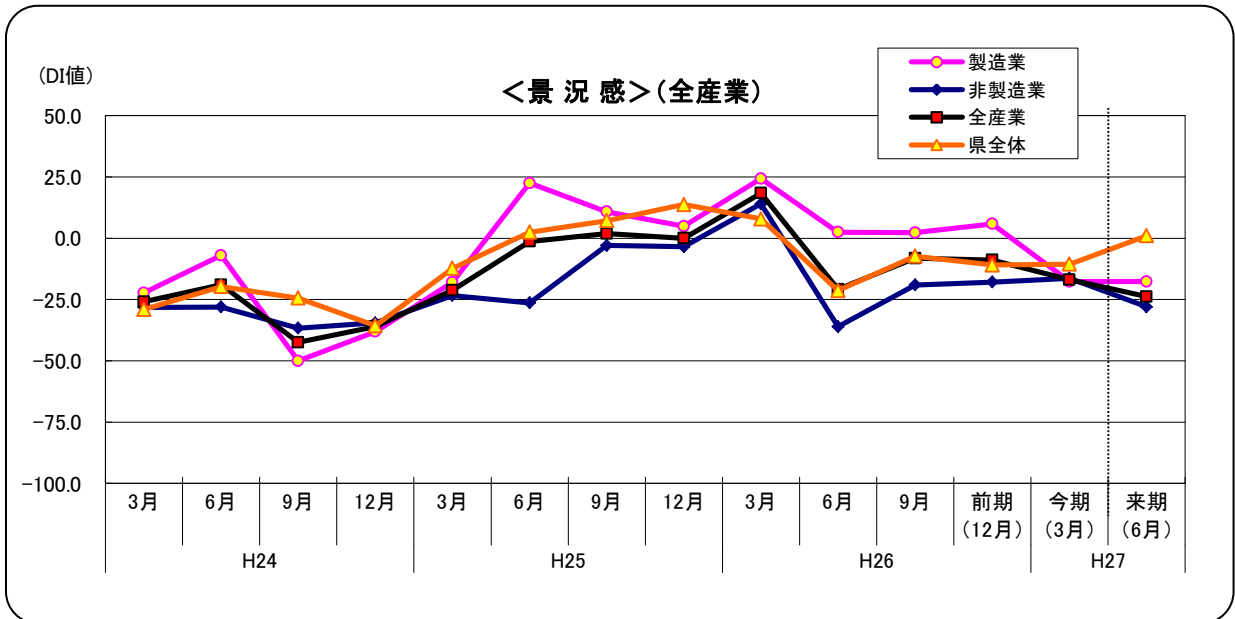
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製 造 業	鉄工・機械	23.1	—	▲ 33.3	—	▲ 50.0	—
	繊維	▲ 16.7	—	▲ 18.2	—	▲ 9.1	—
	その他製造	11.1	—	0.0	—	9.1	—
	製造計	5.9	▲ 9.8	▲ 17.6	▲ 10.9	▲ 17.6	8.8
非 製 造 業	建設業	0.0	▲ 3.8	▲ 26.7	▲ 10.5	▲ 53.3	▲ 14.7
	小売業	▲ 62.5	▲ 29.6	▲ 16.7	6.0	▲ 28.6	0.0
	卸売業	▲ 18.2	▲ 10.9	▲ 22.2	▲ 25.5	▲ 22.2	▲ 8.7
	サービス業(運輸含む)	▲ 13.6	▲ 10.1	▲ 5.3	▲ 11.2	▲ 10.5	9.6
	非製造計	▲ 17.9	▲ 11.5	▲ 16.3	▲ 10.4	▲ 28.0	▲ 2.9
全 体		▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 16.9	▲ 10.5	▲ 23.8	1.1
改善予測		▲ 8.5	▲ 5.1	▲ 6.9	11.6	—	—

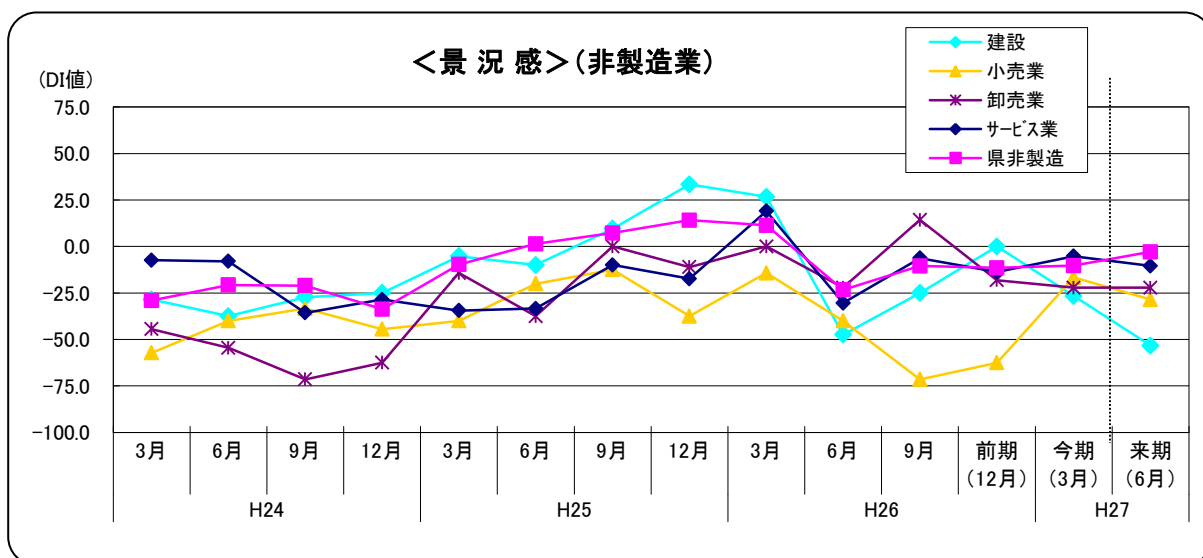
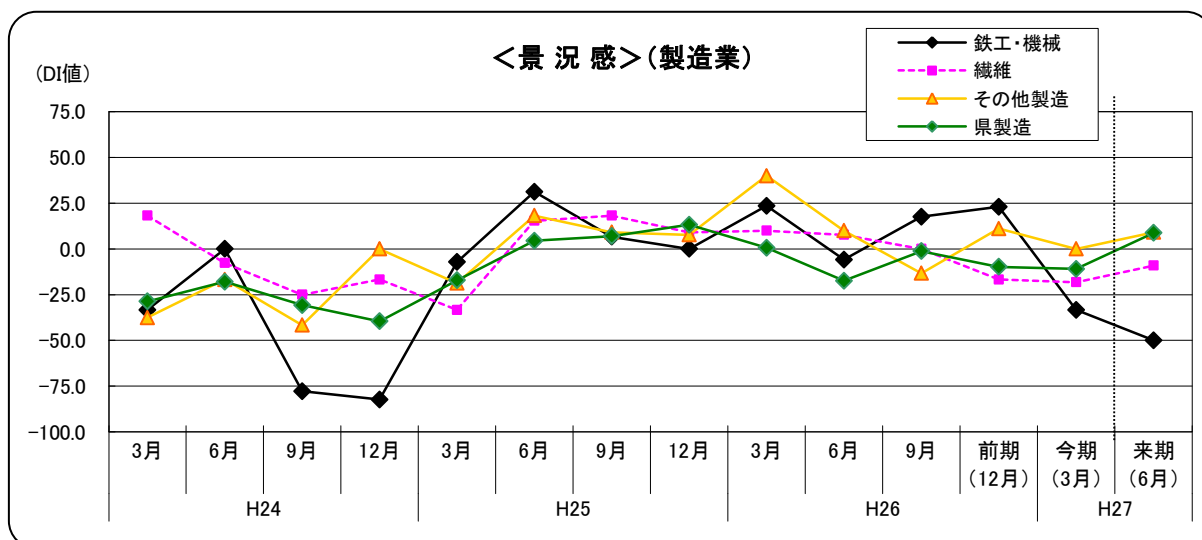
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期 23.1 ポイントだったが、今期は▲33.3 ポイントと悪化。来期は▲50.0 ポイントと更に悪化の見通しを示している。繊維においては前期が▲16.7 ポイントであったが、今期は▲18.2 ポイントとやや悪化、来期が▲9.1 ポイントと回復を示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は回復の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期 0.0 ポイントから今期▲26.7 ポイントと悪化傾向にあり、来期が▲53.3 ポイントと更に悪化の予測が伺える。小売については今期 45.8 ポイント回復、卸売は 4.0 ポイント悪化、サービス業は 8.3 ポイント回復となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H27.3)			来期(H27.6)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 17.6	13	5	▲ 17.6	11	3	34社
非製造業	▲ 16.3	14	9	▲ 28.0	10	6	50社
全体	▲ 16.9	13	7	▲ 23.8	9	5	84社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第4四半期)の状況

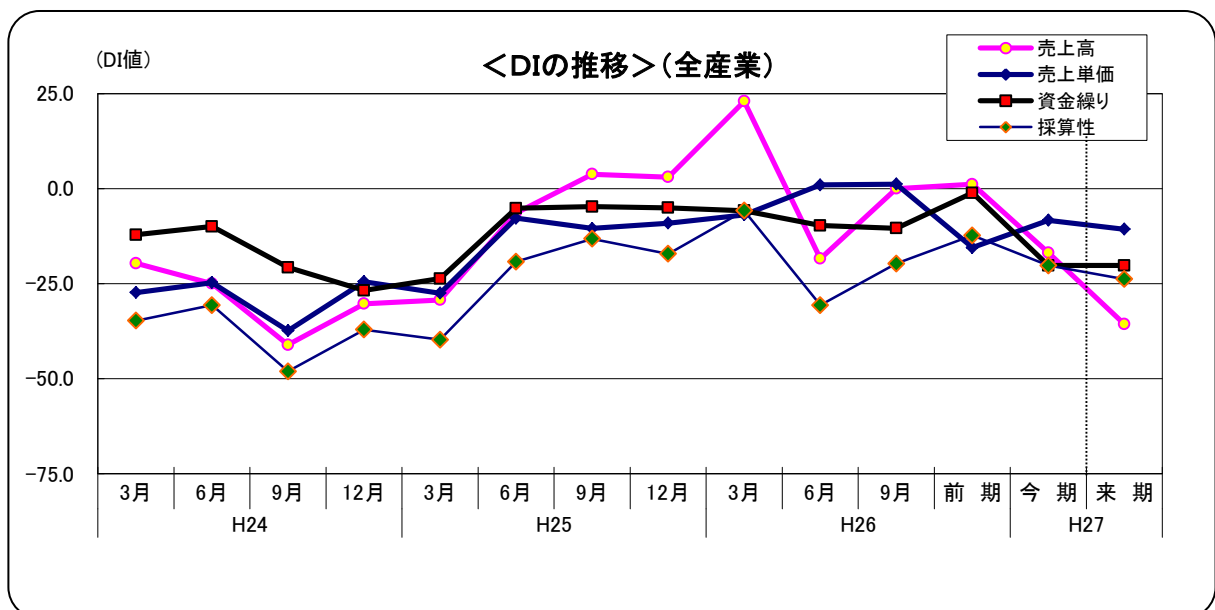
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 24.2	▲ 20.1	▲ 2.9	▲ 6.8	▲ 23.5	▲ 11.2	▲ 26.5	▲ 29.2
建設業	0.0	1.0	▲ 6.7	▲ 3.8	▲ 13.3	▲ 11.4	▲ 6.7	▲ 9.6
小売業	▲ 28.6	▲ 17.5	▲ 14.3	▲ 10.7	▲ 57.1	▲ 17.5	▲ 42.9	▲ 15.8
卸売業	▲ 22.2	▲ 13.0	▲ 33.3	▲ 13.0	▲ 11.1	▲ 10.9	▲ 33.3	▲ 19.6
サービス業	▲ 10.5	▲ 18.1	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 10.5	▲ 12.5	▲ 5.3	▲ 22.3
全体	▲ 16.9	▲ 14.0	▲ 8.3	▲ 8.5	▲ 20.2	▲ 12.3	▲ 20.2	▲ 20.8

来期(27年度第1四半期)の見通し

(単位:DI)

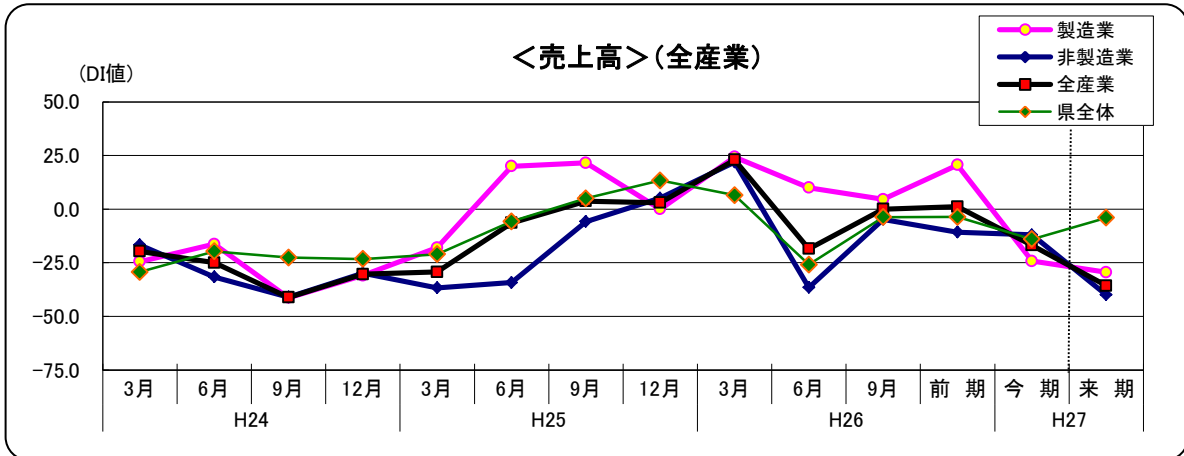
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 29.4	10.6	2.9	1.2	▲ 17.6	▲ 4.3	▲ 17.6	▲ 6.8
建設業	▲ 66.7	▲ 21.6	▲ 13.3	▲ 8.8	▲ 26.7	▲ 4.0	▲ 40.0	▲ 15.8
小売業	▲ 42.9	▲ 13.3	▲ 28.6	12.5	▲ 42.9	▲ 10.5	▲ 42.9	▲ 10.5
卸売業	▲ 22.2	▲ 8.9	▲ 33.3	▲ 6.5	▲ 11.1	▲ 4.3	▲ 33.3	▲ 10.9
サービス業	▲ 26.3	▲ 1.9	▲ 15.8	▲ 4.9	▲ 15.8	▲ 2.9	▲ 10.5	▲ 1.0
全体	▲ 35.7	▲ 4.0	▲ 10.7	▲ 1.7	▲ 20.2	▲ 4.7	▲ 23.8	▲ 8.4
改善予測 (今回)	▲ 18.8	10.0	4.9	6.8	0.0	7.6	▲ 3.6	12.5
改善予測 (H26.12)	▲ 13.9	▲ 10.4	5.0	0.3	▲ 7.2	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 5.3
改善予測 (H26.9)	▲ 7.4	2.8	▲ 8.5	▲ 0.5	▲ 0.5	1.4	▲ 7.0	4.1



(2) 売上高

(単位: DI)

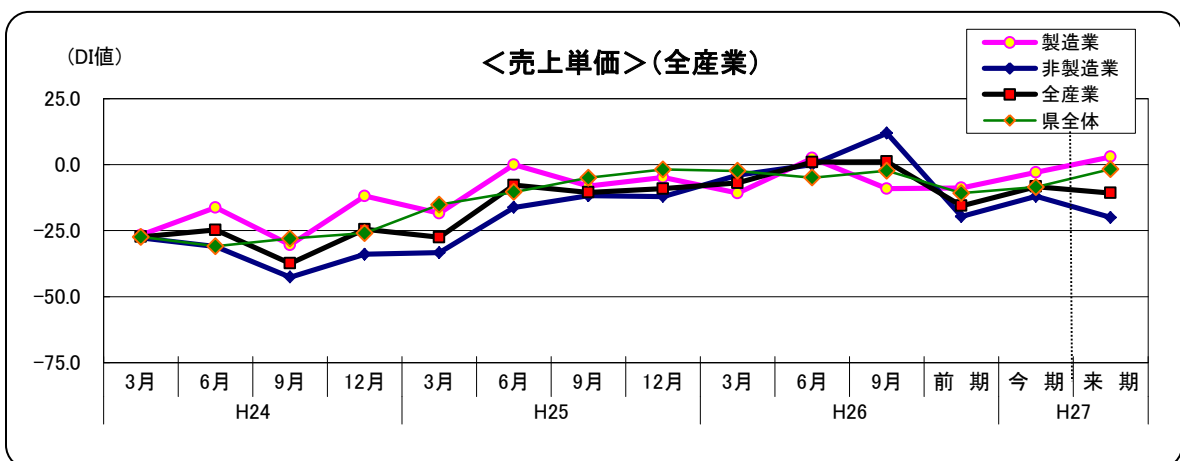
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 66.7	0.0	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 66.7	▲ 42.9	▲ 22.2	▲ 26.3	▲ 40.0	▲ 35.7	▲ 4.0
今期	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 24.2	0.0	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 10.5	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 14.0
前期	30.8	16.7	11.1	20.6	6.3	▲ 42.9	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 10.7	1.1	▲ 3.6



(3) 売上単価

(単位: DI)

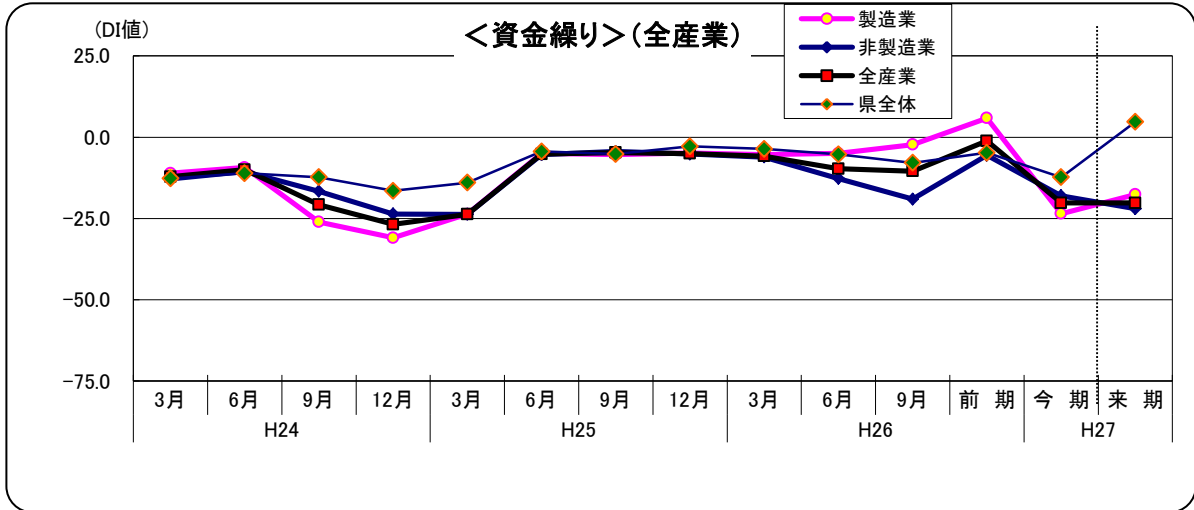
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	9.1	9.1	2.9	▲ 13.3	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 20.0	▲ 10.7	▲ 1.7
今期	▲ 8.3	9.1	▲ 9.1	▲ 2.9	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 8.5
前期	▲ 7.7	0.0	▲ 22.2	▲ 8.8	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 19.6	▲ 15.6	▲ 10.8



(4) 資金繰り

(単位:DI)

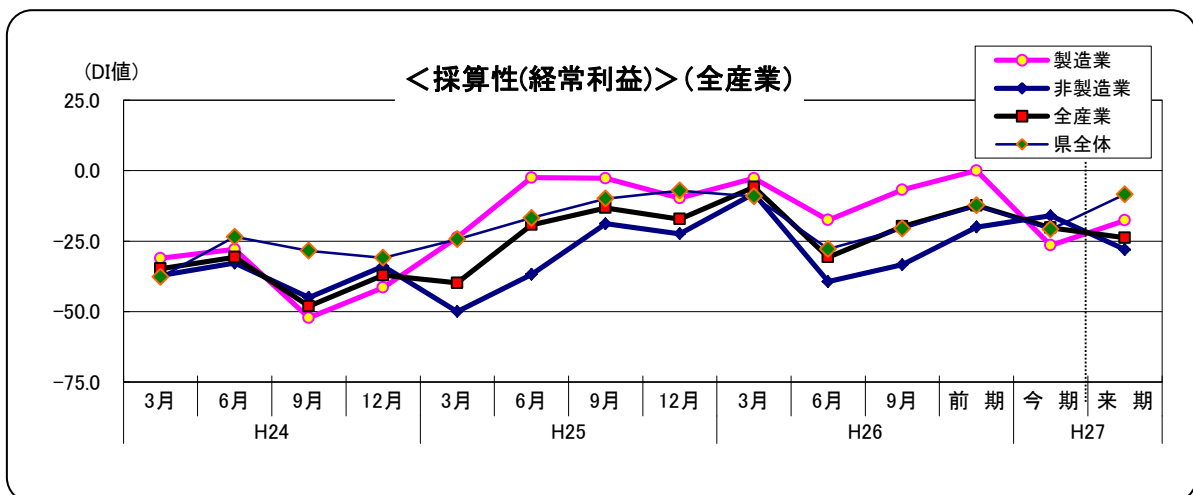
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 17.6	▲ 26.7	▲ 42.9	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 20.2	4.7
今期	▲ 25.0	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 57.1	▲ 11.1	▲ 10.5	▲ 18.0	▲ 20.2	▲ 12.3
前期	23.1	▲ 8.3	0.0	5.9	0.0	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 5.6	▲ 1.1	▲ 4.8



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 10.5	▲ 28.0	▲ 23.8	▲ 8.4
今期	▲ 33.3	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 26.5	▲ 6.7	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 16.0	▲ 20.2	▲ 20.8
前期	30.8	▲ 16.7	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 42.9	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 12.4	▲ 12.3



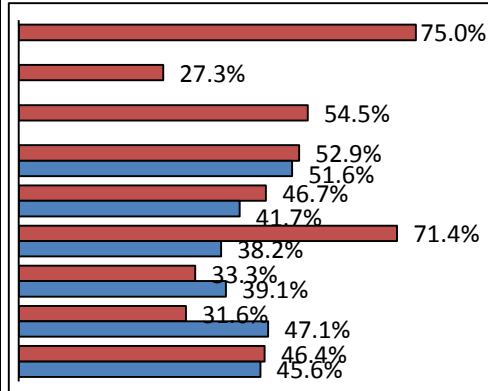


## 設備投資の動向

(1) 今年度後半(平成 26 年 10 月～27 年 3 月の6ヶ月)に設備投資を

	実施した		
	小松	県内	
鉄工・機械	9 社	75.0%	
繊維	3 社	27.3%	
その他製造	6 社	54.5%	
製造業	18 社	52.9%	51.6%
建設業	7 社	46.7%	41.7%
小売業	5 社	71.4%	38.2%
卸売業	3 社	33.3%	39.1%
サービス業(運輸含む)	6 社	31.6%	47.1%
全体	39 社	46.4%	45.6%

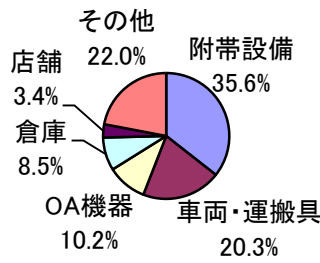
<業種ごとの実施した会社の比率>



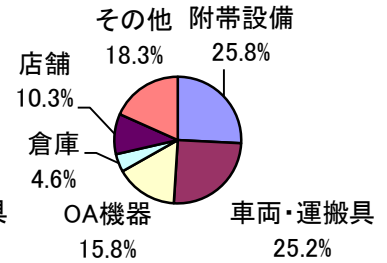
	小松	県内
附帯設備	35.6%	25.8%
車両・運搬具	20.3%	25.2%
OA 機器	10.2%	15.8%
倉庫	8.5%	4.6%
店舗	3.4%	10.3%
その他	22.0%	18.3%

※設備投資内容(複数回答有り)

<小松>



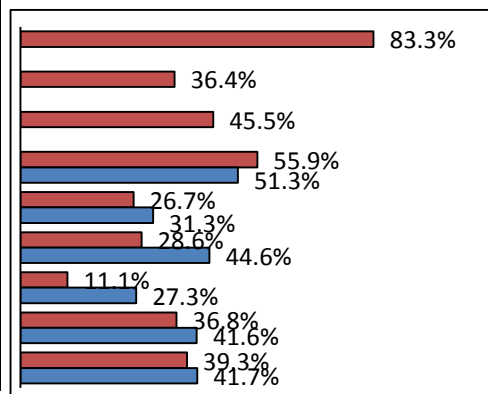
<県内>



(2) 来年度前半(平成 27 年 4 月～27 年 9 月の6ヶ月)に設備投資を

	計画している		
	小松	県内	
鉄工・機械	10 社	83.3%	
繊維	4 社	36.4%	
その他製造	5 社	45.5%	
製造業	19 社	55.9%	51.3%
建設業	4 社	26.7%	31.3%
小売業	2 社	28.6%	44.6%
卸売業	1 社	11.1%	27.3%
サービス業(運輸含む)	7 社	36.8%	41.6%
全体	33 社	39.3%	41.7%

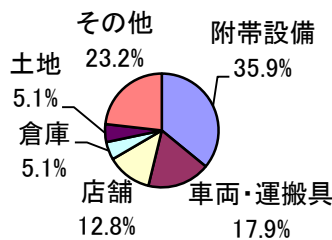
<業種ごとの実施した会社の比率>



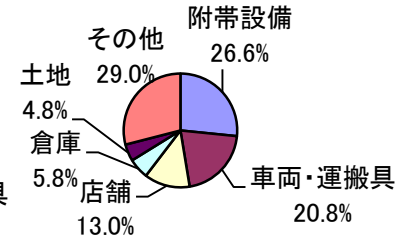
	小松	県内
附帯設備	35.9%	26.6%
車両・運搬具	17.9%	20.8%
店舗	12.8%	13.0%
倉庫	5.1%	5.8%
土地	5.1%	4.8%
その他	23.2%	29.0%

※設備投資内容(複数回答有り)

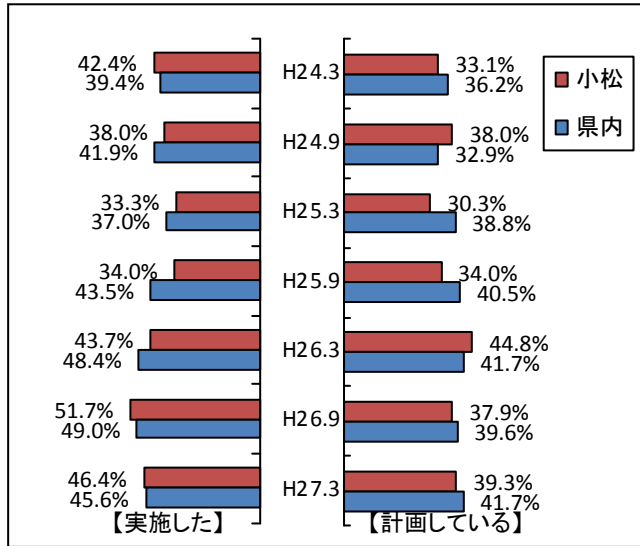
<小松>



<県内>



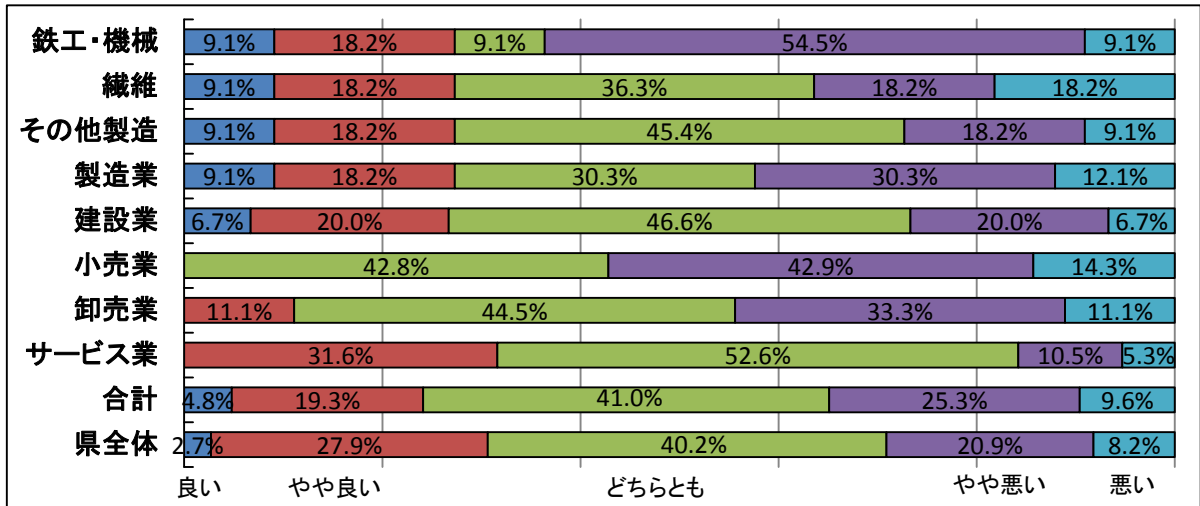
		小松	県内
実施した	H24.3	42.4%	39.4%
	H24.9	38.0%	41.9%
	H25.3	33.3%	37.0%
	H25.9	34.0%	43.5%
	H26.3	43.7%	48.4%
	H26.9	51.7%	49.0%
計画している	H27.3	46.4%	45.6%
	H24.3	33.1%	36.2%
	H24.9	38.0%	32.9%
	H25.3	30.3%	38.8%
	H25.9	34.0%	40.5%
	H26.3	44.8%	41.7%
	H26.9	37.9%	39.6%
	H27.3	39.3%	41.7%



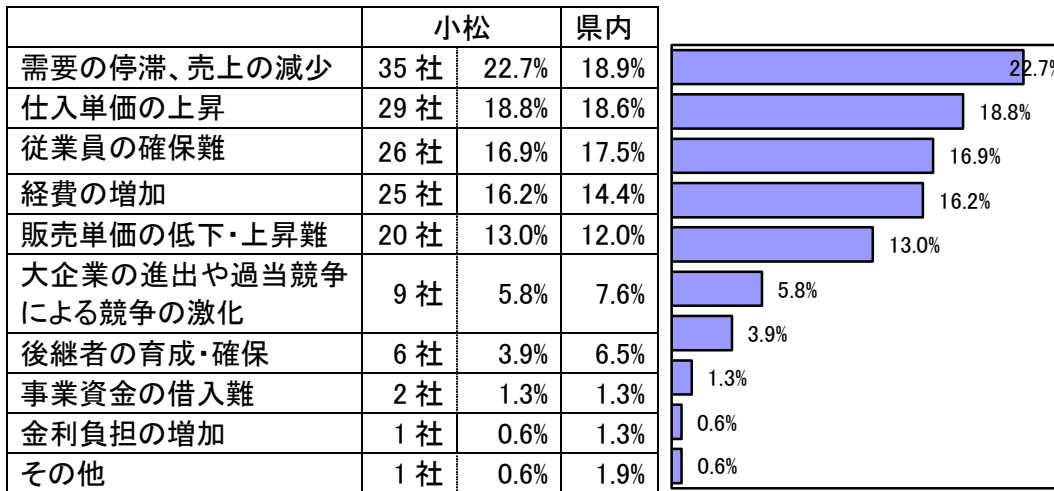
### 景気の現状

3月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	9.1%		18.2%		9.1%		54.5%		9.1%	
繊維	9.1%		18.2%		36.3%		18.2%		18.2%	
その他製造	9.1%		18.2%		45.4%		18.2%		9.1%	
製造業	9.1%	5.7%	18.2%	26.6%	30.3%	39.9%	30.3%	18.4%	12.1%	9.5%
建設業	6.7%	1.9%	20.0%	37.1%	46.6%	35.2%	20.0%	19.0%	6.7%	6.7%
小売業	0.0%	0.0%	0.0%	25.9%	42.8%	39.7%	42.9%	24.1%	14.3%	10.3%
卸売業	0.0%	2.2%	11.1%	23.9%	44.5%	30.4%	33.3%	32.6%	11.1%	10.9%
サービス業(運輸含む)	0.0%	0.9%	31.6%	23.6%	52.6%	50.0%	10.5%	19.8%	5.3%	5.7%
全体	4.8%	2.7%	19.3%	27.9%	41.0%	40.2%	25.3%	20.9%	9.6%	8.2%



今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)



Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

売上高の減少(製造業)

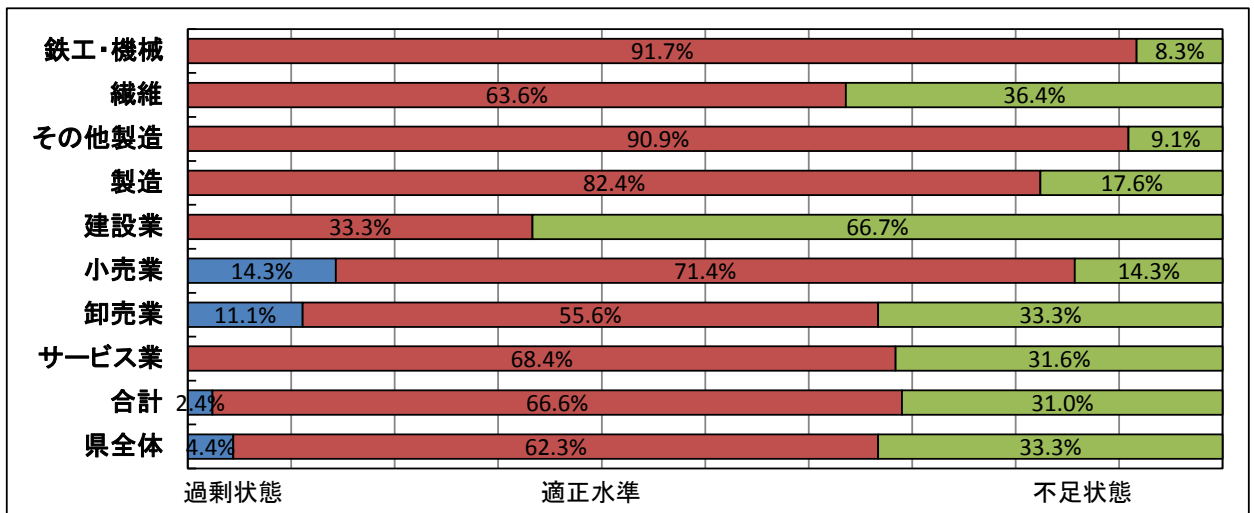
Q「経営上の問題点」の項目における「具体的な問題点」

あらゆる仕入品が円安で値上げ有り(製造業)
コスト改善(製造業)
燃料単価の高止まりでのコストアップを価格転嫁できない(製造業)
輸入調達品のコスト上昇分の価格への転嫁の難しさ(製造業)
内需が全く振るわない。原料高の製品安(製造業)
円安を理由にした値上がりが増加(製造業)
消費税増税等により、原材料費の高騰(製造業)
材料費の値上がり(製造業)
海外からの合金鉄が円安の影響で高くなっている(製造業)
建設機械の生産減少(製造業)
約100人ほど、製造ラインでの不足が発生(製造業)
職人の高齢化(製造業)
人が入社しない理由、安い、汚い、つらいなど色々(建設業)
求人倍率が上がり、結果3K産業には人が来なくなった(建設業)
現場作業員(屋外作業)の雇用困難(建設業)
材料費の上昇(建設業)
2月が悪い(小売業)
九谷焼業界は後継者を育成しにくい、景気が良いのは大企業だけである(小売業)
大型店の販売攻勢(卸売業)
円安による輸入資材の高騰(卸売業)
地域密着型では成長ないので、同業ライバル社は、ほぼ広域展開型になり競争が激化(卸売業)
長距離ドライバー不足(サービス業)
ドライバー不足と消費税の改定により経費を圧迫(サービス業)
従業員の確保難がやや問題点(サービス業)
原材料の多くを輸入に頼っていて見通し難、省エネ、気象温暖化で節約意識が徹底(サービス業)
賃金上昇、固定費の上昇、消費税増税の売上減少(サービス業)

## 雇用情勢

①現在の雇用状況については、どの状態と思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		91.7%		8.3%	
繊維	0.0%		63.6%		36.4%	
その他製造	0.0%		90.9%		9.1%	
製造業	0.0%	6.3%	82.4%	69.0%	17.6%	24.7%
建設業	0.0%	3.8%	33.3%	52.4%	66.7%	43.8%
小売業	14.3%	3.6%	71.4%	64.3%	14.3%	32.1%
卸売業	11.1%	4.3%	55.6%	71.7%	33.3%	23.9%
サービス業(運輸含む)	0.0%	2.8%	68.4%	57.0%	31.6%	40.2%
全体	2.4%	4.4%	66.6%	62.3%	31.0%	33.3%



②過剰・不足状態と回答された企業様につきましては貴社の対応策をお聞かせ下さい。

### 不足状態

ハローワークにて求人中だが、中々応募がない (製造業)
人材紹介会社利用 (製造業)
近隣企業からの応援、派遣社員の採用他 (製造業)
随時、ハローワークと連絡を取り、早期の求人をお願いしている (建設業)
先が見えないので策を打てない (建設業)
随時募集をかけている (小売業、卸売業)
新卒採用と併せ、中途採用を常態化させている (卸売業)
ハローワーク (建設業・サービス業)
募集広告を増やす (サービス業)
募集活動継続(求人) (サービス業)
根気よく勧誘し、社員からの配転などによる応急処置もあり (サービス業)
賃金体系の見直し (サービス業)

来年度(平成27年度)の賃金について

家計負担の増大などにより個人消費に弱さがみられる中、安倍総理が賃上げの必要性について言及するなど、今後の景気回復の鍵を握る賃金動向に注目が集まっています。

貴社の正社員における来年度(平成27年度)の賃金(予定) (複数回答可)

業種	① 定期昇給 を実施	② 定期昇給 は未実施	③ ベースアップ を実施	④ ベースアップ は未実施	⑤ 賞与で 手当支給	⑥ 手当を 新設	⑦ 既存手当 を増額	⑧ 現時点で は未定
鉄工・機械	50.0%	0.0%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%
繊維	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	54.5%
その他製造	56.3%	6.3%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	30.0%	10.0%	25.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	15.0%
小売業	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%
卸売業	54.5%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	16.0%	8.0%	16.0%	8.0%	12.0%	4.0%	4.0%	32.0%
全体	32.3%	5.6%	20.4%	6.5%	9.3%	2.8%	1.9%	21.2%
県全体	31.3%	8.1%	12.6%	8.4%	13.9%	1.7%	1.4%	22.6%

	小松		県内	
定期昇給を実施	35社	32.3%	31.3%	32.3%
現時点では未定	23社	21.2%	22.6%	21.2%
ベースアップを実施	22社	20.4%	12.6%	20.4%
賞与で手当支給	10社	9.3%	13.9%	9.3%
ベースアップは未実施	7社	6.5%	8.4%	6.5%
定期昇給は未実施	6社	5.6%	8.1%	5.6%
手当を新設	3社	2.8%	1.7%	2.8%
既存手当を増額	2社	1.9%	1.4%	1.9%

■現在の景気全般に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

格差の拡大ながらも全般的にプラス? (製造業)
26年度昇給実施 (製造業)
国内産業が順調に進歩している (製造業)
長年の不景気が底入れしてアベノミクスで少し上向いているように思う (製造業)
高負荷、好景気高止まり (製造業)
内需は中国人旅行客の需要のみ。いたって消費が少ない。輸出の外需に頼るしかないが、ルートが現状ない (製造業)
まだまだ本物の景気回復感はない(未だ回復途上) (製造業)
景気は総じて、停滞気味 (製造業)
業種によって“まだら模様”、2020年オリンピック前までは、上昇トレンドだと思う (製造業)
全体の景況は足踏み状態かもしれない。企業、機種によってはバラつきがあると思う (製造業)

2 極化がはっきりしてきた。良い企業、悪い企業が分け合い±0（製造業）
賃上げできる程、景気は回復していない（建設業）
昨年と比較すると、年明けより、仕事・受注量が減少気味である（建設業）
バラバラ(良い悪い)状況（建設業）
今後が不透明である（建設業）
先行の不安定、値上げ等による買い控え、コスト増による経費増加（小売業）
あまり良くない（小売業）
前期まで良かったが、今期に入り悪化（小売業）
勝組と負組がハッキリとし、拡大している（小売業）
なだらかに停滞ぎみ（卸売業）
厳しい状況が続くと思う（卸売業）
金沢ひとり勝ち（卸売業）
アベノミクス効果が徐々に出てきている（サービス業）
北陸新幹線開業で景況感好転の感はあるが、1年後はどうなるか、又小松空港旅客減の不安感もある（サービス業）
これまでの慣習が継続的で、根本的な運賃改定が出来ず、頭打ち（サービス業）
円安になっても、海外(現地)精算が進んでいる（サービス業）
良くも悪くもなく、けど不安ではある（サービス業）
地方の中小企業では景気回復の実感や効果が中々感じられない（サービス業）

■ 他に、商工会議所が取組む課題やご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

受注拡大に向けてどうしたらよいのか、他の商工会議所はどんな事に取り組んでいるのか（製造業）
観光客が小松にも来てもらえるような事業を一步ずつでも着実に進めていってほしいと思う（製造業）
新幹線開通以降の石川県内の景気 UP（製造業）
新幹線工事(福井延長)に地元企業のあと押しが出来たら望ましい（建設業）
国土交通省は、労務単価を引き上げたが、まだまだ低い。建設業に若い人が働くためには、さらに労務単価を上げる必要がある(建設業)
商工会議所の役割が一般の人に理解されていない（卸売業）

会議所コメント:

①

全国の商工会議所・商工会が web 上で運営する「ザ・ビジネスモール」<http://www.b-mall.ne.jp> を通じて、会員事業所の情報を自らが発信、また享受できるシステムを構築しております。(同意事業所に限る)業種を問わず、業者紹介や受注拡大にお役に立てるものと確信致しておりますので積極的にご活用頂ければ幸いです。

②③④⑤

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、全ての中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施してまいります。

⑥

昨年6月に公布された小規模支援法に則り、独自の経営発達支援計画を策定し、時代が求める魅力ある商工会議所となるよう鋭意努力してまいります。

- 小松商工会議所 -